-平成２４年度　新庄最上薬剤師会　第13回理事会議事録

日時：平成25年2月7日（木）　午後7時00分

場所：ラッキーバッグ株式会社本部　研修室

出席者：大橋一夫、池上究、星利佳、山下修、阿部康弘、斎藤慎也、

萩原大士、大橋史広

＜　議　事　＞

1. 開会挨拶

池上専務より開会のあいさつ

1. 会長挨拶

平成26年度山形開催の日薬学術大会の会場はいまだ未定とのこと。薬学大会の役割として総務の副部長に任命された。

1. 議事録署名人指名

　　　理事会規定により大橋会長が議長務める。議事録署名人として、萩原大士理事を

選出。

４．　　報告事項

（１）各委員会及び部会活動報告

１）総務広報委員会

　岡野副会長欠席のため、池上専務より預かっていた平成25年度の事業計画（案）の資料が配布された。内容は別紙のとおり。

２）生涯教育委員会

　阿部理事より2月4日（火）開催の委員会内容について報告（別紙参照）。別紙の平成25年度の事業計画（案）について説明があり、昨年の内容に「支部内における在宅医療の推進をはかるよう努める」を加えることが説明された。また、県立新庄病院を中心として開催されている包括ケア検討会議にて在宅医療において薬剤師が必要とされていること話があった。

３）リスクマネジメント委員会

　山下理事より、別紙の平成25年度の事業計画（案）について説明があった。続いて、真室川病院の疑義照会について報告があり、意外に手書きに関係する疑義照会がすくなかったため、今後の対応の検討が必要であることが示された。会長より、疑義照会に至った事例があり、医療安全の観点から要望書を作成し提出するように指示があった。

４）学校薬剤師会

　池上専務理事より、学校薬剤師の新規希望者についてアンケート検討中の報告があった。

　　５）保険薬局部会

　　　　萩原理事から会議開催はされていないこと報告があった。会長より、来期の計画として突合点検に関する集約について検討するように指示があった。池上専務より、真室川病院のFAXコーナーについて市内3薬局との協議の結果、午後を無人化で対応することが決定された旨報告。利用する患者のために、説明用のパネルなど検討するように指示があった。また、今回の対応でもFAX利用料金の減少が進んでおり、4月以降に料金の値上げなど対応が必要であること説明された。

５．　協議事項

（１）地区薬剤師会会則の件

別紙の事前配布されていたモデル会則をもとに協議。「支部長」という表記を、「会長」に改め、承認。３月通常総会において決議することが決定された。

（２）リスクマネージメント研修会　事業報告について

　平成24年9月7日に開催されたリスクマネージメント研修会について別紙の内容のとおり承認された。

（３）平成24年度結核対策研修会について

　3月4日に開催される結核対策研修会に、支部として大橋会長、池上専務で参加することとした。

（４）平成24年度第2回もがみ高齢者地域見守り関係機関協議会について

　2月20日に開催される第2回もがみ高齢者地域見守り関係機関協議会に、支部として大橋会長、池上専務で参加することとした。

（５）入会・脱会者承認と報告

　　　　　伊藤史博さんの入会希望があり、承認された。

６．その他　連絡事項

　（１）参議院選挙について

　　　　　会長より、今年行われる参議院選挙において、薬剤師会連盟に青森県薬剤師会の木村隆次会長の推薦希望があった旨報告された。家族といっしょに選挙に行く「プラスワン作戦」が説明され、県として２０００票を目標とすること示された。

（２）３月総会資料の作成依頼

　池上専務より、次回理事会までに３月総会の各委員会資料の提出依頼があった。

７．　閉会挨拶

　　池上専務理事より閉会のあいさつ

議事録作成人　　　大橋　史広

議事録署名

平成25年　　月　　日